

**鹿児島県
原子力災害時住民避難支援・円滑化システム
概要と今後の取組**

1. 目的

- ▶ 原子力災害時において、地方自治体や各防災関係機関が保有する被災情報を自動で瞬時に取得し、地図上に分かりやすく表示することで、防災業務関係者の状況認識を統一するとともに、情報集約の負担を可能な限り軽減することで、迅速な救護活動や避難準備（避難車両や資機材の確保等）活動を可能とする。

また、避難住民が迂回路情報や避難退域時検査場所に関する情報をスマートフォンのアプリを通じて、容易に取得できるシステムを開発することにより、防災関係者の迅速な避難支援活動と住民の円滑な避難を可能とすることを目的とする。

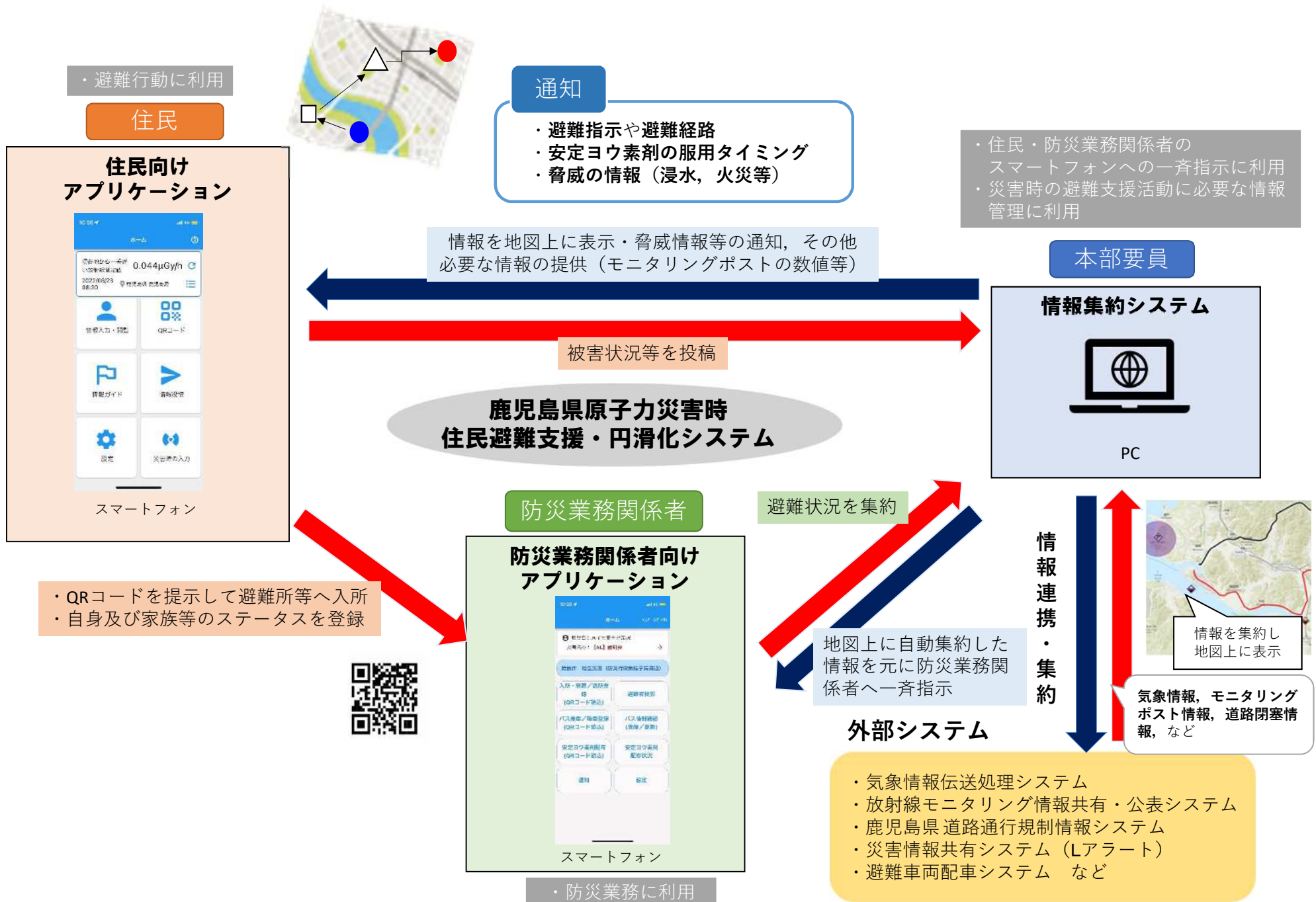
2. システムの概要

- ▶ 鹿児島県原子力災害時住民避難支援・円滑化システムは、原子力災害時における住民避難をより円滑にするため、原子力災害時に、防災業務関係者が必要とする様々な情報を自動で集約し、管理・共有することでより迅速な避難支援活動を行うことができるシステムである。

<主な機能>

分類	項 目	内 容
情報集約	情報集約	他の防災システム等の情報を自動で収集
	地図表示	システムが集約した情報を分かりやすく地図上に表示
	避難経路表示	避難経路の防災関係者への迅速な情報提供（共有）
情報通知	情報通知	原子力防災アプリへ避難に関する情報を通知
情報管理	避難状況の把握	住民の避難状況の把握
	避難車両の管理	避難車両の配車状況の管理
	関連施設の情報管理	避難所等の基本情報や開設状況の管理

3. システムの全体構成



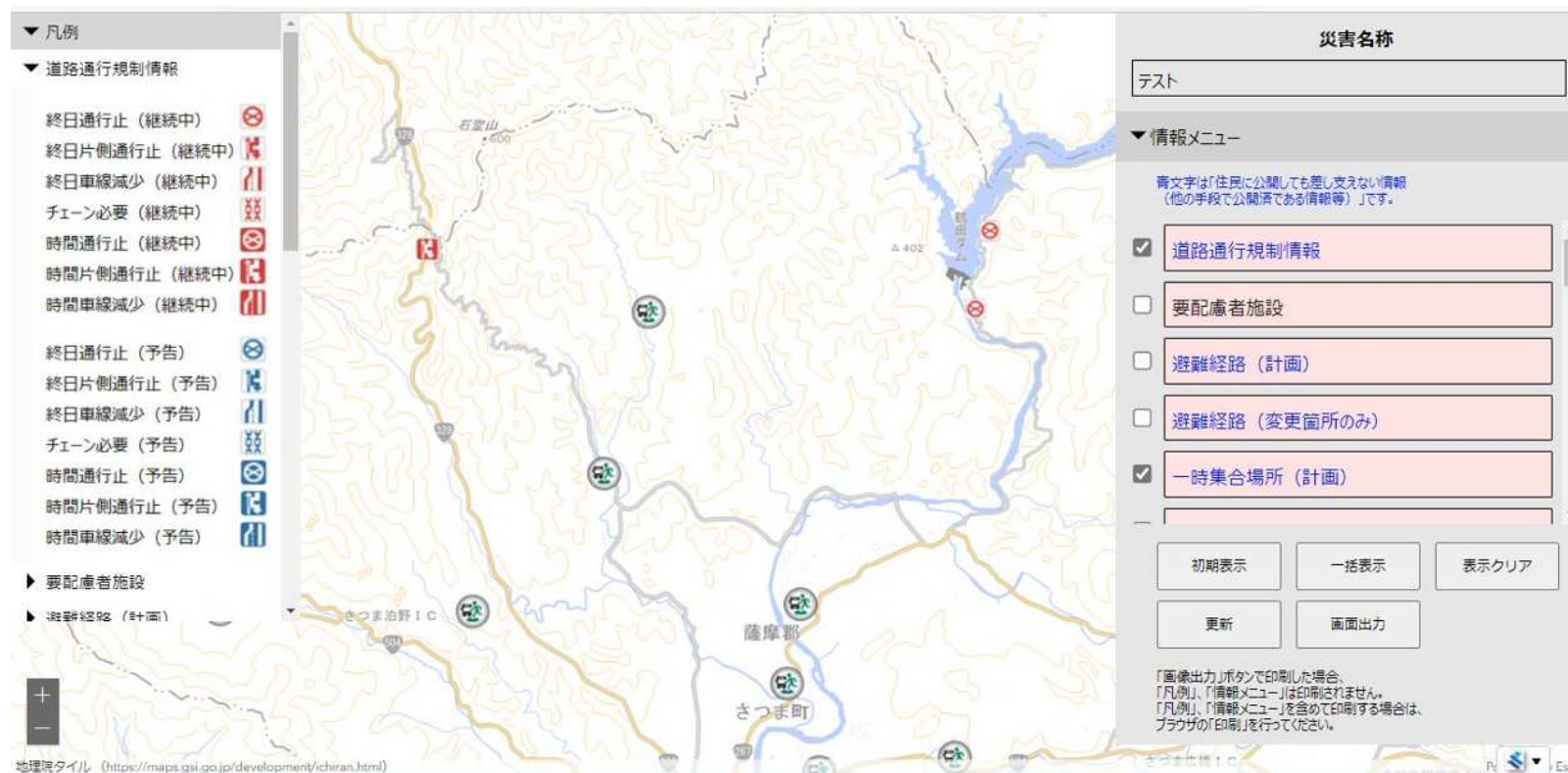
4. 情報集約システム

■ 主な機能

- ・ 連携先システム等から、空間放射線量、通行止め等の道路通行規制情報、津波情報、大雨警報等の気象情報等を**自動で集約し、地図上で表示**
- ・ 住民への避難に関する情報を**スマートフォンへ一斉通知**
- ・ 一時集合場所や要配慮者施設等への**避難車両の配車情報の表示・閲覧**
- ・ 平時における防災対応・準備としての安定ヨウ素剤の事前配布状況や資機材保有数等の**各種情報管理**
- ・ 防災業務関係者への避難支援活動の指示（情報共有） 等

■ システムの画面イメージ

<情報集約機能>



地図情報画面イメージ（施設情報、道路閉塞情報）

- ・「Lアラート」等と連携して住民へ避難指示や災害情報の通知が可能である。

- ・「資機材管理システム」や「避難車両配車システム」等と連携し、資機材の在庫状況や避難車両の配車管理が出来る。

[illegible]

資機材管理システムとの連携データ（イメージ）

■ 主な連携先システム

システム名	概要	所管機関
気象情報伝送処理システム	気象データを関係機関等へ提供等を行うシステム	気象庁
放射線モニタリング情報共有・公表システム	平常時の国及び自治体等が測定する全国の環境放射線モニタリング情報等を公表するシステム	原子力規制委員会
県道路通行規制情報システム	鹿児島県県内の高速自動車国道，一般国道，県道の主な通行規制情報を連載するシステム	県道路維持課
災害情報共有システム (Lアラート)	安心・安全に関わる公的情報など，住民が必要とする情報が迅速かつ正確に住民に伝えるシステム	総務省
避難車両配車システム	避難者数，避難車両の必要台数，配車先等の情報を集約・管理し，これらの情報を踏まえた避難元・避難先の自動マッチング及び配車指示を行うシステム	県原子力安全対策課

5. 鹿児島県原子力防災アプリ（住民用）

■ 主な機能

- ・ 自治体からの避難に関するお知らせの受信
- ・ 最寄りのモニタリングポストの空間放射線量の確認
- ・ 登録情報等を元にした、最適と思われる避難経路の確認
- ・ 避難所の入所手続等に使用するQRコードの提示
- ・ 登録情報の関連付けによる、家族や友人等の避難状況の確認 等

■ 利用イメージ

🏠 情報入力・閲覧

- ・ 避難所の入所手続等に使用する住民情報の登録ができる。
- ・ 一台のスマートフォンにグループ（避難行動を共にする「家族」や「近隣住民」等）の情報も入力できる。
- ・ 安定ヨウ素剤の問診情報を事前登録できる。

📱 情報ガイド

- ・ 予め設定されている防災関係情報へのリンクを確認できる。
- ・ 登録情報などを元に、避難所までの避難計画（経路）を表示できる。
- ・ 情報集約システムから通知された情報を確認できる。



（避難経路提示）



（ホームメニュー画面）

📱 QRコード



（QRコード提示）

（避難場共確認画面）

- ・ 避難所等の受付時、QRコードを表示することで受付手続ができる。グループ登録をすれば、グループで一緒に避難する場合、一台のスマートフォンで全員分の手続きが可能。
- ・ 家族等の登録情報を事前に関連付けることで、家族等の避難状況を確認することができる。

📄 情報投稿

- ・ 利用者が災害被害情報を投稿して、その情報を防災関係者が閲覧できる。

🏠 災害時の入力

- ・ 災害時に使用して、事前に登録した情報の更新を行う。

※発災時に、アプリをインストールしていない住民に対し、仮QRコード（QRコードが記載された紙）を発行する予定

6. 鹿児島県原子力防災アプリ（要員用）

■ 主な機能

- ・ QRコードを利用した**一時集合場所や避難所等での受付業務**
- ・ QRコードを利用した**安定ヨウ素剤の配布業務**
- ・ システム内の登録情報やステータス情報を通じた住民の避難状況の確認 等

■ 利用イメージ



■ 利用イメージ

避難支援業務

- ・ QRコードの読み取りで避難車両へのスムーズな乗車管理

避難車両QRの
読み取り



(避難車両QR読み取り画面)

乗車住民（グルー
プ）QRの読み取り



(読み取り画面)

乗車



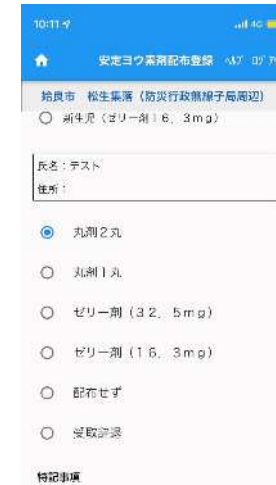
(メニュー画面)

安定ヨウ素剤配布業務

- ・ QRコードの読み取りで安定ヨウ素剤の配布管理支援



(読み取り画面)



(配布情報登録画面)

配布

7. システムの位置付け

今後は、原子力防災に関する中核となるシステムとして位置付け、本システムの情報集約機能を活用し、防災関係機関が相互に協力して取り組む住民防護の具体的な対策の立案・実施を行っていくこととしている。

8. 今後の取組

対象	課題	取組
住民向け	・ 原子力防災アプリのインストールの促進 ・ 原子力防災アプリ操作の習熟	・ 各市町での住民説明会の開催 ・ 県広報誌等を活用した広報 等
行政向け	・ システム活用に関する調整 ・ システム操作の習熟	・ 原子力防災訓練での活用 ・ 関係機関との調整 ・ 各市町での操作説明会の開催